

外国語教育メディア学会(LET)第52回全国研究大会 全体プログラム

Day 1 (August 7)

| 101 CALL講義室 | ワークショップ(13号館各会場) 102 CALL講義室 Aaron Campbell | 103普通講義室 平島 晶子 | |
|-------------|---|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 9:00-10:30 | Using Moodle Reader to Support Extensive Reading | 同時通訳テクニック授業活用法 | |
| 10:45-12:15 | 神谷 健一 データベースを活用した『教材データの再利用』『教材提示の円滑化』『授業の活性化』 | 前田 啓朗 外国語教育の成果に関するデータの分析・解釈・表現 | シヤンタール ヘンミ 視覚教材を活かした小学校外国語活動の進め方 |
| 12:45-14:15 | 東 淳一 Ustreamで教育活動や研究活動をライブ配信しよう | 阪上 辰也 RIによる教育・言語データ処理のススメ | 中嶋 洋一 図や映像とリンクさせた指導のあり方 |

Day 2 (August 8)

| | |
|-------------|---|
| 9:40 | 開会行事(142) |
| 10:00-11:30 | 基調講演 1: Norman SEGALOWITZ Second Language Fluency: Challenges for Researchers and Educators (142) |
| 11:30-12:15 | 総会・学会賞表彰(142) |

| 研究発表・実践報告・公募シンポジウム・賛助会員デモンストレーション(各会場) | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|-----|--|---|---|--|
| 131(教授法) | 132(テクノロジー) | 133(CALL・e-Learning) | 331(リスニング・スピーキング) | 332(リーディング・ライティング) | 333(学習者要因) | 334 | 335(コーパス・教育格差・CEFR) | 336(テクノロジー・学習者要因) | 337(賛助会員デモンストレーション) | |
| 田原・柿原・池谷・神谷 OP-01 「動詞変化形提示ツール」の言語横断的実証研究 | 山口・神田・田淵・湯舟 S-1 公募シンポジウム1: 13:00-14:40 映像データベース教育利用の現状と未来—開かれた検索サイトを目指して | 岩田・原田 OP-08 CALL学習者に影響を及ぼす要因の特定に向けて: CALL学習者のコンピュータスキル及び英語力に関する質問紙開発 | 生馬・門田・平井・森下・敷内 OP-13 絵描写発話における繰り返しの効果: 日本人英語学習者に対する実証研究 | 山内・峯松・加藤・川村・西川 OP-17 シャドーイングに必要な下位能力の研究: 単語認識能力とシャドーイングの関係 | 西田 OP-21 L2理想自己, 国際的志向性, 内発的動機づけ, コミュニケーションへの積極性に関する大学英語学習者を対象とした実証研究 | | 中條・アントニ・西垣 OP-26 日英パラレルコーパス検索サイトの公開—開発と実践利用— | 小張 OP-30 The Effect of Blogging on Language Learners' Improvement in English Proficiency | 国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部 D-01 甲南大学英語集中コースにおけるCriterion(自動採点・分析ソフト)の効果的な活用方法 | |
| 中西 OP-02 IMEの音声認識機能を利用した中国語発音指導の課題と展望 | | 南・下島 OP-09 CALL授業内外での英語専攻学習者の学習傾向: 主としてTOEIC形式のPart 7とPart 5を比較して | 茅野・峯島・大湊 OP-14 スクリプトの有無によるリスニングテキストの比較分析 | 池山 OP-18 繰り返し黙読で増す速度及び内容理解と語彙レベルの関係 | 植木・竹内 OP-22 留学プログラム前・後における動機づけモデルの比較検討—多母集団バス解析をもちいて | | 井上 OP-27 使役動詞の効果的指導法の検討 | 河合・大西 OP-31 Learning how to give presentations in online and in-person blended environments | 教育測定研究所 D-02 自主的に学習できる次世代の英語ライティング学習システム CASEC—WT (Writing Tutor) | |
| 加藤 OP-03 Webベースでの話す練習: 大阪大学による法情報発信(英語, 中国語, ポルトガル語, ロシア語) | | 竹壺 OP-10 オーセンティックな素材を使用したコースウェアによる大学英語教育の可能性の探究—コースウェアの構成要素の分析から見えてきたこと— | 中田 OP-15 L2英語の母音挿入率と歌唱が及ぼす発音向上への効果 | 坂東・梁・草薙・福田・杉浦 OP-19 視線計測装置を用いた暗示的文法知識の習得困難性の測定—処理の「即時性」に着目して— | 城野 OP-23 初級英語学習者における屈折形態素のAttention Shift Cost | | カレイラ松崎 OP-28 韓国の英語教育における教育格差—放送番組が果たす役割— | 門脇・松橋 OP-32 Students' E-portfolio project with Google Sites and various Web2.0 tools | 株式会社マクミラン ランゲージハウス D-03 Blended Learning made easy with Digital e-Books | |
| 休憩 | | | | | | | | | | |
| 氏木・長谷・門田 OP-04 語彙性判断課題を利用した語彙テスト(GELP-Lex)の開発 | 関口 OP-06 ソーシャルメディアを活用した英語学習者の自己調整学習環境の構築 | 鈴木 OP-11 聴覚障がい者の英語プロソディ学習における体感音響振動の活用—英語の発音改善の取り組み— | 森下・山本 OP-16 統語処理のトレーニングが日本人初級英語学習者のスピーキングに及ぼす影響: CALL教室を活用した授業実践に基づく考察 | 神田・湯舟・田淵・山口・池山・鈴木 OP-20 チャンク単位の音読訓練が読解効率に与える影響 | 松藤 OP-24 効果的な英語学習支援プログラムの開発を目指して: 英語初級レベルの大学生の場合 | | 伊庭 OP-29 ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に基づく主観評価と英語能力試験の相関性 | 染矢 OP-33 Teaching English with a Dash of Humor | 電子システム株式会社 D-04 Mac-CALLとiPadでの授業支援 | |
| 今井・三根 OP-05 Vocabulary Levels Dictation Testの信頼性の再分析 | 熊井 OP-07 モバイルデバイスでスピーキング活動を記録及び自己・相互評価を可能にするLMSモジュールの開発とその活用 | 湯舟・峯 OP-12 TOEIC演習で音声変化を習得できるWeb教材の学習効果 | | | 香林・竹内 OP-25 EFLの教室における大学生の自己調整学習を測る—質問紙作成とその信頼性, 及び妥当性の検証— | | | | センゲージ ラーニング株式会社 D-05 Extending your reach with Moodle materials | |

| | | |
|-------------|--------------------------------------|--|
| 13:30-15:30 | ポスター発表(1号館3階ラウンジ・コアタイム: 14:40-15:30) | P-01 柳田: フレーズ読みを用いた英文読解の困難点: 語彙か構造か P-02 岡崎・木戸・福田・江原・水野: 外国語としての英文リーディングにおける脳波α波積分値の変化 P-03 木村・森永: 文法力の重要性と基礎文法力養成のための教材開発の試みとその検証 P-04 前田: 汎用表計算ソフトを用いたランダム出題型テストの開発と運用 P-05 岩居: 音声認識サービスを活用したドイツ語発音練習の可能性について |
|-------------|--------------------------------------|--|

| | |
|-------------|---|
| 16:20-17:50 | 基調講演 2: 山森 光陽 個人差と教育条件の織りなす動的状況における学習指導の位置づけ(142) |
| 18:10-20:00 | 懇親会(5号館1階ラウンジ) |

Day 3 (August 9)

研究発表・実践報告・公募シンポジウム・賛助会員デモンストレーション(各会場)

| | 131(教授法) | 132(テクノロジー) | 133(CALL・e-Learning) | 331(リスニング・スピーキング) | 332(リーディング・ライティング) | 333(学習者要因) | 334(早期英語教育) | 335 | 336(心理言語学・教授法) | 337(賛助会員デモンストレーション) |
|-------------|---|---|--|--|---|---|--|-----|--|--|
| 9:30-10:00 | 黒川 OP-34 日本人中学生のリスニング、リーディング、ライティング育成に対するTPRとTPR Storytellingの有効性に関する実証的研究—中学3年生段階での活用— | | 権・佐藤 OP-40 CALL学習における学習行動の実証的研究 | 森・堀 OP-41 英語のリズム構造—母語話者と日本人英語学習者の相違点と共通点 | ハーバート・山科・釣井 OP-45 英語統一カリキュラムの一部として導入した多読指導の実践報告—中・上級者を中心に | | 石川・近藤・齋藤 OP-49 小学校外国語活動におけるアチーブメントテスト用アプリケーション:英語音声認識を利用して | | 佐取 OP-53 The Role of L1 and L2 Working Memory in Literal and Inferential Comprehension in L2 Listening | G-TELP 日本事務局 D-07 G-TELPスピーキングテスト・ライティングテストのリリースと日本における先行実施事例の報告 |
| 10:05-10:35 | 清畑 OP-35 普通高校1年次における『使える英語プロジェクト』 | 片岡・伊藤・山根 OP-37 TTS技術を活用したClassroom Englishの教室内音読学習と教室外自主学習:高校生の記憶保持に関する検証 | 青木・鈴木・志水・渡辺・寺嶋 | 中野・夏目 OP-42 Beat音のある英語リズム教材による英語リズム習得と脳波変化 | 宮崎・大城・長谷川 OP-46 REXを活用したパーソナライゼーション方略—学習者のレベルに適合したテキスト抽出 | | 池亀 OP-50 小学校外国語活動 日英の音声の気づきを与える授業 | | 橋西 OP-54 The Challenges and Suitability of Task-based Language Teaching in Asian Contexts | HOYA株式会社 D-08 魔法の英語教育ソフトGlobalvoice シリーズ |
| 休憩 | | | | | | | | | | |
| 10:55-11:25 | 安川・白木・吉田・佐々木 OP-36 社会人と大学生が考える自己の英語能力と社会に必要な英語能力とは—社会人と大学生の意識調査から— | 小野 OP-38 普通教室においてiPod Touchを活用したBlended Instruction | S-2 公募シンポジウム2:10:05-11:45 多様な大学環境における英語eラーニング:ラーニングマネジメントの違いがもたらすもの | 樽井 OP-43 日本人学習者のリスニングとスピーキングにおける英語のリズム | | 小山 OP-47 電子辞書方略指導:定着をどう測るか | 真崎 OP-51 小学校における学年別(1年生~6年生)の英語音声の比較 | | 川崎 OP-55 A Comparison of the Decoding Skills of Grades 5 & 6 and Grades 8 & 9 Students: An Examination of Automaticity and Error Types | 東通産業株式会社 D-09 スマホで自己学習 |
| 11:30-12:00 | 株式会社ピアノ桐原 D-06 ピアノの新しいオンライン文法教材『MyGrammarLab.』の概要と大学での実践報告 | 榎田 OP-39 映像を付加したオリジナル英語学習用ポッドキャストの配信と活用 | | 有本・河内山・中西・山本 OP-44 教職課程における英語発音指導の位置づけ | | 久島 OP-48 英語教育におけるeラーニングシステムGOOLLを利用した自律及び協調学習 | 長濱・保崎・北村 OP-52 口唇動作映像が英語学習者の発音習得に期待される効果 | | | 株式会社VERSION2 D-10 Web マルチメディアLMS「Glexa」を用いた授業例 |

9:30-11:30 **ポスター発表(1号館3階ラウンジ・コアタイム:10:40-11:30)**
 P-06 松本: Some Conflicts in Pair Work in the L2 Learning of Nursing Students: Good or Bad? P-07 三宅: A Progress Report on Classroom Activity regarding Participation in The Extremely Short Story Competition: Tokyo Keizai University Students' Responses to the ESSC
 P-08 三田・GILDART・萩野: 事前・事後指導科目を通じて英語力と異文化理解を深める短期英語研修 P-09 TAYLOR: Learning, teaching, and evaluation as achievements of discursive practice in the classroom
 P-10 飯島: メタ認知力と英語学習 P-11 田淵: 英語音声教育における聞きやすさの研究—eラーニングでの学習履歴解析

研究発表・実践報告・公募シンポジウム・賛助会員デモンストレーション(各会場)

| | 131(教授法) | 132(テクノロジー) | 133(CALL・e-Learning) | 331(リスニング・スピーキング) | 332(リーディング・ライティング) | 333(学習者要因) | 334 | 335 | 336(テクノロジー・学習者要因) | 337(賛助会員デモンストレーション) |
|-------------|---|--|--|---|--|---|-----|-----|--|--|
| 13:00-13:30 | 井狩・吉田・高橋・福原 泉・河内山・加賀田 | 高橋 OP-56 スマートフォンを利用した英語聴解力養成のためのCALLシステムの開発 | 浦野 OP-59 Moodleを利用した教室外スピーキング活動 | 大塚・上田・井上 OP-62 発展的発音指導への授業デザイン: Oral Interpretationという授業の位置づけ | 阿部・山西 OP-64 協働的L2ライティングにおけるプロセスとプロダクトの分析 | 平井・河野・蒲原 OP-66 CALPを育む読解指導における発問とは?—ブルームのタクソミー、PISA読解力調査、CALLAとCLILの指導法の枠組みから— | | | KAISER・SHIBAHARA OP-68 Developing Intercultural Communicative Competence Through Film Clips | パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社 D-12 電子辞書連携機能付新VSSのご紹介 |
| 13:35-14:05 | S-3 公募シンポジウム3:13:00-14:40 外国語活動に関する意識調査から見えてくること | 石塚 OP-57 3次元仮想空間における外国語学習タスク空間の構築 | 小栗・柳 OP-60 セミダイレクト添削手法を用いた英作文オンライン指導 | 平井・生馬・藪内 OP-63 L1およびL2発話の流暢性の関係—初級L2学習者における検討 | 草薙・高橋・菊池 OP-65 キー入力記録システムを用いた英語学習者のライティングプロセス分析—語数・推敲回数・正確さの時系列推移— | 滝澤・池上・佐藤・若本 OP-67 Test-taking strategyの構造:日本人英語学習者はどのようなTest-taking strategyを使っているのか? | | | ROSS・CHARITOS OP-69 Hispanidades/Hispanicities: Modeling Micro-collaboration across institutions in support of student learning and research | 学校法人 文化学園アカデミックアーカイブセンター D-13 英語教育&教材に最適なオンラインデータベース |
| 14:10-14:40 | | 坂田 OP-58 継続的自律英語学習を支援するセルフコーチング・ワークシート「Learning How to Learn」の開発について | 奥田・芦川・萩尾 OP-61 デジタル拡張型英語テキストの開発—授業内環境の調和構築を目指して— | | | 株式会社アルク教育社 D-11 大学における外国語スタンダードの目標設定とeラーニングの有効活用について | | | ベニントン OP-70 Learner Training Based on Critical Thinking Theory: Developing Autonomous Learners | 株式会社内田洋行 D-14 英語学習のための効果的な環境づくり |

15:00-16:30 **基調講演 3: 荘島 宏二郎 データからテストと人を評価する: 潜在ランク理論と非対称多次元尺度法 (142)**

16:35-16:50 **閉会行事 (142)**